

特定小規模施設用自動火災報知設備試験結果報告書										
①実施日 令和 年 月 日										
②実施者										
住 所										
氏 名										
用 途	③ (5) 項イ (民泊)									
延べ面積	④ 200 m ²		階 数	地上 2 階 地階 階						
受 信 機	蓄積式・二信号式・アナログ式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・その他 ()									
	P・GP型 級 回線数 /			R・GR型 自火報点数 点・その他点数 点・予備点数 点						
	定格電圧	A C			V ・ D C			V		
	予 備 電 源	N i C d ・その他 ()			V			A H		
発 信 機	型 級 屋内型 個 屋外型 個 (無線式 型 級 屋内型 個 屋外型 個)									
中 継 器	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他() 回線			予備電源 有 (V A H) ・無		設置台数 台				
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他() 回線			予備電源 有 (V A H) ・無		設置台数 台				
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他() 回線			予備電源 有 (V A H) ・無		設置台数 台				
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他() 回線			予備電源 有 (V A H) ・無		設置台数 台				
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他() 回線			予備電源 有 (V A H) ・無		設置台数 台				
感 知 器	⑤ 機 種			自	遠	種 別	個 数			
	光電 式 スポット 型 (無線式・連動型・警報機能付)			○		2 種	4 個			
	定温 式 スポット 型 (無線式・連動型・警報機能付)			○		特種	1 個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
	式 型 ()					種	個			
音響装置	種 別		種 類	電 圧		電 流		個 数		
	主音響装置 (内蔵されているものを除く。)			D C V		m A		個		
	副音響装置 (内蔵されているものを除く。)			D C V		m A		個		
	地 区 音 響 装 置			D C V		m A		個		
				D C V		m A		個		
				D C V		m A		個		
	放 送 設 備 と の 連 動		有 ・ 無							
鳴 動 方 式		⑥ 一斉鳴動 ・ 区分鳴動								

【記載要領】

①試験を実施した日を記載します。

②試験の実施者を記載します。

③「消防法施行令別表第一の項・具体的な用途」を記載します。民泊の場合は、5 項イと記載します。

④建物全体が、5 項イ（民泊）となる場合は、建物全体の延べ面積を記載し、16項イ（特定複合用途）となる場合は、民泊部分の床面積を記載します。

⑤感知器の種別ごとに設置個数を記載します。

・煙感知器であれば「光電式スポット型」、熱感知器であれば「定温式スポット型」となります。

・定温式（熱感知器）は台所（キッチン）に、光電式（煙感知器）はそれ以外の居室（宿泊室やリビングなど）や2㎡以上の収納・クローゼットに設置します。

・「自」の欄は自動試験機能付であることを意味します。「種別」は、説明書などで確認できます。

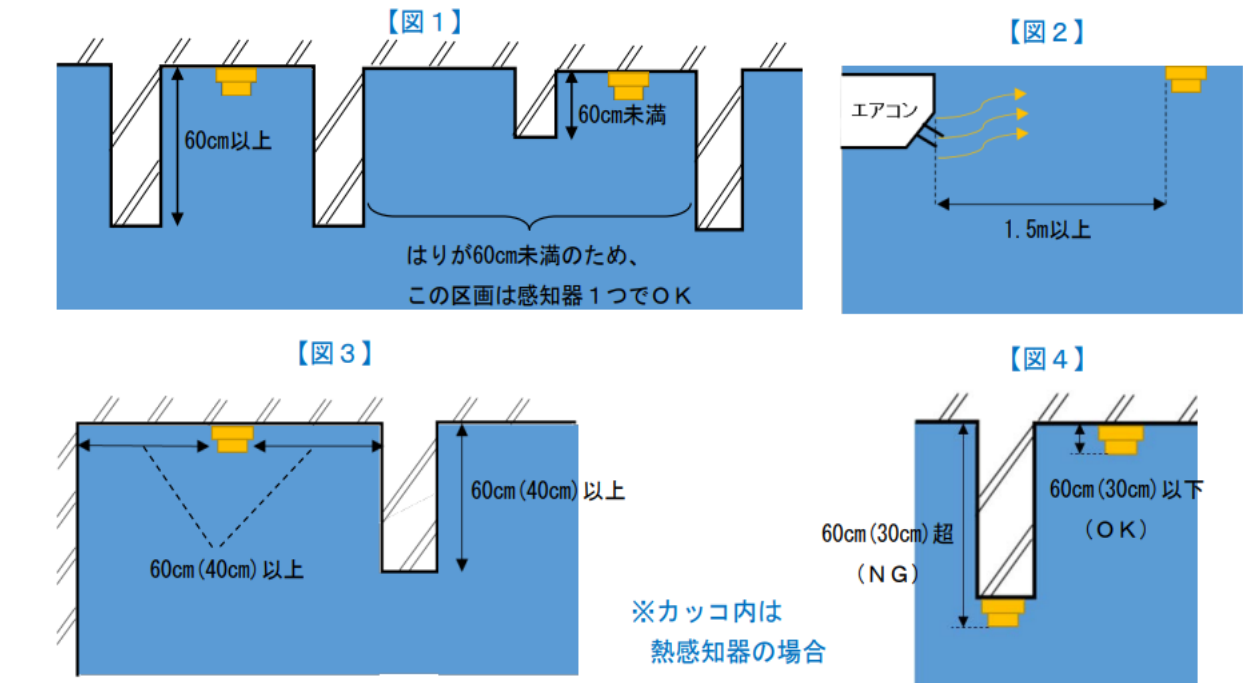
⑥全ての感知器が一斉に鳴るので、一斉鳴動に○をします。

試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
外 観	警戒区域	警戒区域の ⑦ 設定	_____	○
	受信機	設置場所等	設置場所	
			周囲の状況・操作性	_____
			設置状況	_____
		構造・性能		_____
		操作部		床面からの高さ _____ m
		予備品等		_____
	中継器	設置場所等		
		構造・性能		_____
		予備品等		_____
	電 源 (電池を除く。)	常用電源		AC _____ V
		非常電源の種類		非常電源専用受電設備・蓄電池設備
	試 験	感 知 器 警戒状況・設置状況・構造・性能	差動式スポット型	_____
			⑧ 定温式スポット型	_____ ○
			補償式スポット型	_____
			熱複合式スポット型	_____
			熱アナログ式スポット型	_____
			⑨ 煙感知器（アナログ式を除く。）	_____ ○
			イオン化アナログ式スポット型	_____
			光電アナログ式スポット型	_____
			熱煙複合式スポット型	_____
			炎 感 知 器	_____
	発信機	設置場所等		_____
		構造・性能		_____
	表示灯	設置場所等		_____
		構 造		_____
	地区音響装置	設置場所等		_____
		構 造		_____

⑦警戒区域は、○を記載します。

⑧取り付けた熱感知器が以下の全ての項目に適合していれば○を記入します。

- ☐ 台所（キッチン）付近の天井に設置されている。
- ☐ エアコン等の吹出し口から1．5 m以上離して設置されている。【図2】
- ☐ 壁や梁（はり）から40 cm以上離して設置されている。【図3】
- ☐ 点検や電池交換などの維持管理ができる場所に設置されている。
- ☐ 感知器の下端は、天井面の下方30 cm以内である。（はりの下面に設けられていない。）
- ☐ 説明書などに記載された感知器の使用温度範囲（通常は－10℃～50℃程度）を超える場所には 設置されていない。（例：暖房器具の熱風を直接受ける場所など。



⑨取り付けた煙感知器が以下の全ての項目に適合していれば○を記入します。

- ☐ 宿泊室やリビングなどの居室、2㎡以上の収納の天井に設置されている。
- ☐ 居室が可動式の間仕切り（カーテンなどは除く。）や天井から60 cm以上突出したはりで区画された部分ごとに感知器が設置されている。【図1】
- ☐ エアコン等の吹出し口から1．5 m以上離して設置されている。【図2】
- ☐ 壁や梁（はり）から60 cm以上離して設置されている。（小規模な収納などで四方の壁から60 cm 離すことができない場合は、可能な限り壁から離れた中央部分に設置されている。）【図3】
- ☐ 点検や電池交換などの維持管理ができる場所に設置されている。
- ☐ 感知器の下端は、天井面の下方60 cm以内である。（はりの下面に設けられていない。）

特定小規模施設用自動火災報知設備

(その2)

[illegible]

⑫添付図面の室名称に合わせて感知器の設置場所を記入します。

- ・ 感知器の設置個数を記載します。
- ・ いずれかの感知器を操作し、全ての感知器が連動すれば○を記載します。
⇒操作（試験）方法は説明書などで確認しましょう

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 受信機の表示番号ごとに個数を記入すること。(受信機を設置する場合に限る。)

3 アナログ式及び自動試験機能付きのものは、階又は警戒区域ごとに設置されている個数を記入すること。